

第 8 回 通 常 総 会

1993年6月16日(水)

社団法人 人工知能学会

JAPANESE SOCIETY FOR ARTIFICIAL INTELLIGENCE



〒162 東京都新宿区津久戸町4-7

OSビル402号室

TEL. 03-5261-3401 FAX. 03-5261-3402

第8回通常総会次第

日 時 1993年6月16日(水) 17時～17時30分

場 所 東京工業大学大学百年記念館
フェライト記念会議室(東京・大岡山)
東京都目黒区大岡山2-12-1 TEL.03-3726-1111(代)

- 総会次第
1. 開 会
 2. 会長挨拶
 3. 議長選出
 4. 1992年度事業報告
 5. 1992年度決算報告、監査報告
 6. 1993年度事業計画
 7. 1993年度予算
 8. 1993年度役員構成
 9. 1993年度評議員構成
 10. 個人会員の除名処分
 11. 閉 会

以 上

1992年度事業報告

1. 概 要

昨年度に引き続き、理事会および各委員会を中心に学会の基盤強化を進めるとともに、第6回全国大会の開催、会誌の隔月発行、研究会活動に重点を置き、学会活動の活発化、会員サービスの充実をはかった。

6月23日から4日間にわたり学習院大学で開催した第6回全国大会は、論文発表181件、クインラン博士（シドニー大学）の招待講演などで、盛会裡に終わった。

会誌発行は、編集委員会の長期的な企画と周到な準備のもとに、各号論文特集、技術特集、解説連載、AIマップなどのほか、引続き好調な投稿論文の掲載で会誌の充実をはかった。

研究会活動は、本年度からスタートした「言語・音声理解と対話処理」、「知的教育システム」の2研究会を加えた5研究会で、他学会研究会との共催を含め計17回の研究会および合同研究会「AIシンポジウム'92」を開催、研究発表計151件、チュートリアル講演7件、パネル討論3回が行われた。

セミナーは東京、大阪、名古屋で計3回開催、いずれも好評であった。なお、諸般の情勢により、当初企画した「ヤングAIワークショップ」は都合により中止、また「学生のための人工知能講演会」は本年度から休止となった。

IJCAI'97の1997年日本開催へ向けて、準備委員会がスタートした。

2. 会員現況（1993年3月31日現在）

正会員	3,893名
学生会員	387名
名誉会員	4名
賛助会員	134社
特殊購読会員	101団体

3. 会誌の発行

◇第7巻第3号（通巻33号）

・巻頭言、小特集「状況意味論」解説4編、一般解説3編、AIマップ2編、論文7編、ショートノート1編、その他で構成

◇第7巻第4号（通巻34号）

・巻頭言、特集「事例ベース推論」解説8編、一般解説2編、AIマップ1編、論文7編、ショートノート1編、その他で構成

◇第7巻第5号（通巻35号）

・新会長挨拶、特集「認知科学の動向」解説5編、一般解説1編、AIマップ1編、論文8編、報告1編、その他で構成

◇第7巻第6号（通巻36号）

・巻頭言、随想1編、一般解説3編、連載「計画問題と人工知能」3編、論文特集「学習」8編、論文5編、その他で構成

◇第8巻第1号（通巻37号）

- ・巻頭言、随想2編、一般解説2編、連載「計画問題と人工知能」1編、AIマップ1編、論文6編、その他で構成

◇第8巻第2号(通巻38号)

- ・巻頭言、随想1編、特集「VLSI-CADと人工知能」解説6編、一般解説2編、論文5編、その他で構成

4. 1992年度全国大会(第6回)の開催

チュートリアルを3トラック構成で第1日に集中し、期間4日間として第6回全国大会を開催した。

◇日時 1992年6月23日(火)～26日(金)

◇場所 学習院大学・記念会館

◇プログラム構成

- ・特別講演 「ルール意識を管理する方法」
佐藤 雅彦(電通)
- ・招待講演 「Themes and Issues in Empirical Learning」
Prof. J. R. Quinlan (University of Sydney)
- ・パネルディスカッション「協調システムは可能か？」
司 会 中島 秀之(電子技術総合研究所)
パネリスト 三宅なほみ(中京大学)
稲葉 雅幸(東京大学)
西田 豊明(京都大学)
竹内 郁雄(NTT)
萩谷 昌己(京都大学)
- ・研究会企画による特別セッション
「制約指向とエキスパートシステム」<知識ベースシステム研究会>
「マルチメディアにおける時間の制御」
<ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会>
- ・一般講演 発表論文181編
- ・参加者 936名(内非会員121名、学生83名/論文集購入を含む)
- ・優秀論文表彰 優秀論文 6編
- ・チュートリアル講演
<Track A: 人工知能の入門と基礎>
古関 義幸(日本電気)「エキスパートシステム」
野島 久雄(NTT)「ヒューマンインタフェースの社会心理学」
山口 亨(LIFE)「ニューロファジィ」
<Track B: 人工知能理論の最近の話題と動向>
石田 亨(NTT)「協調問題解決」
小長谷明彦(日本電気)「遺伝的アルゴリズムの原理と応用」
横森 貴(電気通信大学)「計算論的学習理論」
<Track C: 人工知能のシステム化技術の動向>
岡本 敏雄(電気通信大学)「知的CAI」
寺野 隆雄(筑波大学)「大規模知識ベース技術の動向と課題」
本位田真一(東芝)「ソフトウェア工学とAI」
参加者 287名(非会員30名、学生17名、テキスト7名)

5. シンポジウム／ワークショップの開催

- ◇第10回設計シンポジウム
期 日 1992年7月16日(木)・17日(金)
場 所 ムトーホール(東京・世田谷)
共 催 (社)精密工学会、(社)日本機械学会、日本設計工学会
構 成 特別講演1件、解説講演1件、一般講演18件
参加者 83名
- ◇マシン・インテリジェンスに関する国際ワークショップ1992
期 日 1992年8月24日(月)～26日(水)
場 所 グラスゴー(英国)
共 催 Turing Institute
後 援 Daiwa Foundation
構 成 講演6件
参加者 30名
- ◇知識ベースシステムのための知識獲得国際ワークショップJKAW'92
期 日 1992年11月9日(月)・10日(火)・12(木)・13日(金)
場 所 神戸国際会議場(神戸・ポートアイランド) /
(株)日立製作所基礎研究所(埼玉・鳩山町多摩)
協 賛 (社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、AAA I
構 成 招待講演8件、一般講演19件
参加者 107名
- ◇計算論的学習理論ワークショップALT'92
期 日 1992年11月20日(水)～23日(金)
場 所 (株)CSK情報教育センター(東京・多摩)
協 賛 (社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、
日本認知科学会、(社)計測自動制御学会、日本神経回路学会、(財)ICOT
構 成 招待講演3件、一般講演20件
参加者 115名
- ◇7周年記念特別シンポジウム
期 日 1992年12月18日
場 所 東京工業大学百年記念館フェライト記念会議室(東京・大岡山)
テ ー マ インテリジェント・システム
構 成 講演6件、パネルディスカッション6名
参加者 100名
- ◇知識共有／再利用ワークショップ
期 日 1992年12月18日・19日(土)
場 所 スズキ荘観月園(静岡・浜名湖)
主 催 知識ベースシステム研究会
構 成 テーマ講演4件
参加者 20名

6. 研究会の開催

人工知能基礎論、ヒューマンインタフェースと認知モデル、知識ベースシステムおよび、本年度からスタートした言語・音声理解と対話処理、知的教育システムの2研究会を合わせて5研究会が、他学会との共催を含めて計17回の研究会を開催、(人工知能基礎論研究会の10月度研究会は国際ワークショップALT'92開催のため休会)、そのほか12月に3研究会合同で、講演、パネル討論、研究発表のプログラムによる“A Iシンポジウム'92(第3回)”を2日間開催した。

◇人工知能基礎論研究会

・第14回

日 時 1992年6月12日(金)9時10分～17時15分

場 所 三田出版会ホール(東京・本郷)
内 容 研究発表9件/参加者25名

・第15回

日 時 1993年2月9日(火)9時30分~16時50分
場 所 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科研究棟・大講義室(石川県)
テ - マ 人工知能の基礎理論およびその応用に関する一般演題
内 容 研究発表8件/参加者27名

◇ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会

・第16回

日 時 1992年5月18日(月)10時30分~16時30分
場 所 神戸大学瀧川記念学術交流会館(神戸・六甲台)
内 容 研究発表4件/参加者19名

・第17回

日 時 1992年10月5日(月)13時30分~17時
場 所 三田出版会ホール(東京・本郷)
テ - マ メディアとAI
内 容 研究発表4件/参加者19名

・第18回

日 時 1993年2月12日(金)13時30分~17時
場 所 東京大学生産技術研究所(東京・乃木坂)
テ - マ メンタルモデルとグループウェア
内 容 研究発表5件/参加者25名

◇知識ベースシステム研究会

・第20回

日 時 1992年4月23日(木)10時30分~16時15分
場 所 三田出版会ホール(東京・本郷)
内 容 研究発表6件/参加者29名

・第21回《電子情報通信学会・人工知能と知識処理研究会と共催》

日 時 1992年8月20日(木)15時45分~
21日(金)16時45分
場 所 シーサイドホテルフェニックス(宮崎市・宮崎フェニックスグリーンランド)
テ - マ 並列/分散/協調処理
内 容 研究発表16件/参加者20名

・第22回《学術振興会プロセスシステム工学研究会と共催》

日 時 1992年10月27日(火)10時30分~17時10分
/28日(水)10時~17時
場 所 東京工業大学百年記念館フェライト記念会議室(東京・大岡山)
テ - マ プロセス産業における知能化技術と次世代AI
内 容 研究発表11件/参加者58名

・第23回《電子情報通信学会人工知能と知識処理研究会と共催》

日 時 1993年1月21日(木)13時30分~17時30分
/22日(金)9時10分~18時
場 所 国際電気通信基礎技術研究所<ATR>(京都・精華町)
内 容 研究発表16件/参加者延べ64名

◇言語・音声理解と対話処理研究会研究会

・第1回

日 時 1992年4月15日(水)9時30分~17時30分
場 所 東京工業大学百年記念館フェライト記念会議室(東京・大岡山)
内 容 研究発表6件・パネル討論/参加者65名

・第2回

日 時 1992年7月13日(月)13時30分~
14日(火)15時
場 所 公務員共済施設・湖泉荘(長野・上諏訪)
テ - マ 音声言語処理と対話理解
内 容 研究発表13件/参加者83名

- ・第3回
日 時 1992年10月30日(金) 13時30分～17時
場 所 早稲田大学理工学部51号館3階会議室(東京・大久保)
内 容 研究発表3件/参加者20名
- ・第4回
日 時 1993年2月5日(金) 10時～17時15分
場 所 (財)新世代コンピュータ技術開発機構ANNEX会議室(東京・三田)
内 容 研究発表3件・チュートリアル講演4件/参加者69名

◇知的教育システム研究会

- ・第1回
日 時 1992年4月24日(金) 10時～17時
場 所 東京大学先端科学技術研究センター13号館講堂(東京・駒場)
内 容 研究発表8件・パネル討論/参加者69名
- ・第2回
日 時 1992年9月25日(金) 9時30分～17時25分
場 所 徳島大学工学部知能情報工学科教室(徳島市)
テ - マ 知的CAIと要素技術
内 容 研究発表16件(情報処理学会7件、人工知能学会9件)/参加者20名
- ・第3回
日 時 1992年11月20日(金) 9時～17時
場 所 電気通信大学電気通信学部西9号館1階135号室(東京・調布)
内 容 研究発表10件/参加者36名
- ・第4回
日 時 1993年3月19日(金) 13時 ～16時40分
 20日(土) 9時30分～12時
場 所 NTT伊豆長岡・田方荘“スイートピラ踊り子”(静岡・伊豆長岡)
テ - マ 知的教育システム一般
内 容 研究発表15件/参加者69名

◇第4回合同研究会“AIシンポジウム'92”

- 日 時 1992年12月3日(水) 10時～17時
 4日(金) 9時30分～16時40分
- テ - マ 人工知能における計算量と情報量
- 場 所 機械振興会館研修1号室/66号室・67号室(東京・芝公園)
- 内 容 講演3件、パネル討論“人工知能における情報量”5名、
研究発表12件/参加者<特別企画>45名<研究発表>41名

7. セミナーなどの開催

◇第17回人工知能セミナー

- ・テ - マ: 知的CASEシステム-CASEツールとAI技術の融合-
- ・期 日: 1992年7月8日(水) 10時～17時
- ・場 所: 日本ユニシス(株)教育センター(東京・渋谷)
- ・プログラム: 講演/パネル討論
司 会 上野晴樹氏(東京電機大学)
知的CASEシステムの動向 上野晴樹氏(東京電機大学)
モデルベースによるプログラム合成 水谷博之氏(東芝)
ソフト自動合成システム構築シェル 渡辺正信氏(日本電気)
保守拡張支援のためのリエンジニアリング技術
上原三八氏(富士通研究所)

・参加者: 84名

◇第18回人工知能セミナー

- ・テ - マ: 事例ベース推論技術の動向
- ・期 日: 1992年9月28日(月) 10時～17時
- ・場 所: 日本ユニシス(株)教育センター(東京・渋谷)
- ・プログラム: 司 会 田村浩一郎氏(電子技術総合研究所)
事例ベース推論の動向 小林重信氏(東京工業大学)

事例ベース推論の推論技術
シガレット製造機の故障診断支援
電力系統事故復旧支援
計算機室のレイアウト
誘導モータの機械設計

松原 仁氏(電子技術総合研究所)
中村孝太郎氏(日本たばこ産業)
奥田健三氏(宇都宮大学)
吉浦 裕氏(日立製作所)
服部雅一氏(東芝)

・参加者:69名

◇第19回人工知能セミナー

・テーマ:人工知能における最近の話題と動向
・期 日:1992年11月25日(水)9時30分~17時
・場 所:日本ユニシス(株)大阪教育センター・741号室(大阪・堂島)
・協 賛:(社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、(社)計測自動制御学会、
(財)関西情報センター

・プログラム:司 会 北橋忠宏氏(大阪大学)
モデル推論とルール生成 山口高平氏(静岡大学)
協調問題解決 石田 亨氏(NTT)
遺伝的アルゴリズムの原理と応用 小長谷明彦氏(日本電気)
エキスパートシステムから見た大規模知識ベース
溝口理一郎氏(大阪大学)

・参加者:60名

◇第20回人工知能セミナー《東海エアアイ研究会と共催》

・テーマ:メディア・アーキテクチャ・ニューロの融合と実用化に向けて
・期 日:1993年1月21日(火)9時30分~16時30分
・場 所:愛知厚生年金会館会議室“百合”(名古屋・池下)
・協 賛:(社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会
・プログラム:司 会 阿部圭一氏(静岡大学)

シンセティック・メディア・アーキテクチャ
田中 謙氏(北海道大学)
ドキュメント・アーキテクチャ 上林憲行氏(富士ゼロックス)
マルチモーダルメユーザインタフェース
スーインタフェースとしての表情一
竹内彰一氏
(ソニーコンピュータサイエンス研究所)
人工現実感とドラマ・アーキテクチャ
村上公一氏(富士通研究所)

・参加者:80名

8. ニュースレターの発行

ニュースレターの作成、発行はとりやめたが、学会活動の最新情報を会員に伝達するために、各種パンフレットを3回にわたり配布した。配布したパンフレットは次のとおり。

- ・1992年度全国大会(第6回)開催案内
- ・1993年度全国大会(第7回)論文募集案内
- ・1992年度研究会のお知らせ
- ・1993年度研究会のお知らせ
- ・4月度/6月度/10月度/2月度研究会開催案内
- ・12月度合同研究会“AIシンポジウム'92”開催案内
- ・計算論的学習理論国際ワークショップAL'T'92論文募集/開催案内
- ・知識ベースシステムのための知識獲得国際ワークショップJKAW'92論文募集/開催案内
- ・マシン・インテリジェンスに関する国際ワークショップ1992論文募集/開催案内
- ・第10回設計シンポジウム開催案内
- ・第17回/第18回/第19回/第20回人工知能セミナー開催案内
- ・人工知能ハンドブック購読のおすすめ
- ・学会誌などバックナンバー頒布について

・入会のお勧め<個人会員/賛助会員/特殊購読会員>

9. 表彰

◇学会論文賞

論文賞規程、論文賞候補選定細則にもとづき、会誌第7巻1号～第7巻第6号掲載の論文、ショートノートおよび技術資料評編を対象に、会員による推薦および候補選定委員会の審査を経て、下記の論文2編の著者に論文賞を贈呈した。

- ・「エージェントの組織による実時間連続問題解決」(VOL. 7, NO. 2)
石田 亨、Les Gasser、横尾 真
- ・「推論過程からの概念学習(1) - 類型的推論過程の抽出 -」
/ 「推論過程からの概念学習(2) - 概念構造の構成要因 -」(VOL. 7, NO. 4) 吉田健一、元田 浩

◇研究奨励賞

研究奨励賞規程、同細則にもとづき、1991年度の研究発表を対象に、登録会員による推薦および候補選定委員会による審査を経て、下記の5件に研究奨励賞を贈呈した。

<人工知能基礎論研究会>

- ・SIG-FAI-9102-2 [類推の論理的構造] 有馬 淳
- ・ALT'91-10 [Polynomial time inference of unions of tree pattern languages]
H. Arimura, T. Shinohara, S. Otsuki

<ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会>

- ・SIG-HICG-9102-2 「仮想空間記述に関する研究」 廣瀬通孝、木島竜吾
- ・SIG-HICG-9103-12 「創造的CAIへのIntelligent Pad応用」 野口孝文、田中 譲

<合同研究会“AIシンポジウム'92”>

- ・SIG-F/H/K-9101-4 「タスク・モデルに基づく問題解決エンジンの合成 - 知識工学支援
のためのCAKE環境を目指して -」 堀 雅洋、中村祐一
- ・SIG-F/H/K-9101-12 [情報伝達の観点から見た日常会話文の解析手法] 伝 康晴、飯田 仁

◇全国大会(第6回)優秀論文の表彰

発表論文181編を対象に、プログラム委員会査読委員の審査を経て、下記の論文7編の著者を表彰した。

- ・論文番号2-17 [極小汎化に基づくPROLOGプログラムの正事実からの多項式時間推論]
有村博紀、篠原 武(九州工大)、石坂裕毅(富士通研)
- ・論文番号6-1 [遺伝アルゴリズムを拡張した虫型探索システム:BUGS]
伊庭斉志、秋葉澄孝、佐藤泰介(電総研)
- ・論文番号10-2 [充足過程学習機能を持つ制約型プログラミング手法]
石井 恵、金田重郎(NTT)
- ・論文番号17-5 [自然発話理解に基づく音声対話システムの対話処理]
貞本洋一・竹林洋一(東芝)、
新地秀昭(東芝ソフトウェアエンジニアリング)
- ・論文番号19-3 [ニューロ技術を用いた株式投資支援エキスパートシステムの開発]
原田 実、駒井義憲、吉川彰一(青山学院大)
- ・論文番号22-5 [事例ベース推論とモデル推論の協調作用に基づく知識獲得支援システム]
博松理樹、山口高平(静岡大)

10. 共催、協賛、後援の催し物

次のとおり催し物の共催5件、協賛73件により、他学協会と協調して学会活動の活発化、多様化を進めた。

《共催》

- ◇第2回ファジィシステムセミナー [テーマ:新しい情報処理の潮流を探る]
日本ファジィ学会主催(1992/6/13)
- ◇宇宙用人工知能・ロボット・オートメーション・国際シンポジウム (i-SAIRAS'92)
宇宙科学技術研究所、宇宙開発事業団主催 (September 30 - October 2, 1992)
- ◇1993年情報学シンポジウム
日本学術会議情報学研究連絡委員会/学術文献情報研究連絡委員会/学術データ情報研究連絡委員会/情報工学研究連絡委員会主催(1993/1/13・14)
- ◇93 KOREA/JAPAN JOINT CONFERENCE ON EXPERT SYSTEMS
Korea Association of Intelligent Information Technology, SIG on Expert Systems in Management Science, The World Congress on Expert Systems, Expert Systems with Applications: An International Journal Expert Systems Journal(in Korea) 主催(1993/2/4・5)
- ◇第4回計測連合シンポジウム [先端計測'93]
日本学術会議/計測工学研究連絡委員会主催(1993/3/16・17)

《協賛》

- ◇第6回知能移動ロボットシンポジウム
(社)日本ロボット学会主催(1992/5/21・22)
- ◇第2回ロボットシンポジウム
(社)日本ロボット学会主催(1992/5/21・22)
- ◇第8回ファジィシステムシンポジウム
日本ファジィ学会主催(1992/5/26~28)
- ◇平成4年度第1回定例講演会 [地球温暖化防止のための経済政策]
(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会主催(1992/5/28)
- ◇第五世代コンピュータ国際会議1992 (FGCS'92)
(財)新世代コンピュータ技術開発機構主催(1992/6/1~5)
- ◇Computer Graphics Osaka'92
(社)日本能率協会主催(1992/6/10~13)
- ◇平成4年度第2回定例講演会 [ニューラルネットワークの情報処理]
(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会主催(1992/6/11)
- ◇1992年並列処理シンポジウム (JSPP'92)
(社)情報処理学会・JSPP'92実行委員会主催(1992/6/15~17)
- ◇システム制御情報チュートリアル講座イブニングスクール [ニューラルネットワークの基礎と計測・制御への応用]
システム制御情報学会主催(1992/6/22・23・26・29・30)
- ◇SYNAPSE'92 (シナプス'92)
(財)千里国際情報事業財団・日本経済新聞社(1992/6/24~26)
- ◇The Eighth International IFIP WG 5.3 Conference PROLAMAT'92
(社)精密工学会、(社)情報処理学会、IFIP(1992/6/24~26)
- ◇ロボティクス・メカトロニクス講演会'92
(社)日本機械学会主催(1992/6/16~18)
- ◇第11回シミュレーション・テクノロジーコンファレンス
日本シミュレーション学会主催(1992/6/24・25)
- ◇講習会 [極限的手法による計測・認識とその応用]
(社)計測自動制御学会関西支部主催(1992/6/30)
- ◇第2回“人工現実感とトレイグジスタンス”国際会議
(社)日本工業技術振興協会主催(1992/7/1~3)
- ◇SICE夏期セミナー'92
(社)計測自動制御学会主催(1992/7/5~9)
- ◇国際音声システム総合展 (VOICE SYSTEM WORLDWIDE '92 JAPAN)
日本経済新聞社主催(1992/7/7~9)
- ◇AI'92
日本経済新聞社主催(1992/7/7~9)
- ◇Dynamics and Design (D&D) Conference '92 (Niseko)
(社)日本機械学会機械力学・計測制御部門主催(1992/7/7~11)
- ◇セミナー [開け行く“人工現実感”の世界]

- システム制御情報学会主催(1992/7/10)
- ◇シンポジウム [農業機械の知能化を目指して(第3回) - ロボット化への道]
農業機械学会主催(1992/7/16・17)
 - ◇ [第2回ファジイ論理と神経ネットワークに関する国際会議]
(財)ファジイシステム研究所(F L S I)、国際ファジイシステム学会(I F S A)主催(1992/7/17~22)
 - ◇ I E E E / R S J International Conference on Intelligent Robots and Systems '93
- Intelligent Robots for Flexibility - (I R O S ' 9 3)
IEEE IES、IEEE RAS、(社)日本ロボット学会、(社)計測自動制御学会、ニューテクノロジー財団主催(1992/7/26~30)
 - ◇パネルディスカッション [ファジイコンピュータの未来像]
日本ファジイ学会主催(1992/7/31)
 - ◇サマーセミナー [知識工学の外観検査への応用]
(社)精密工学会主催(1992/8/21~22)
 - ◇演習付きファジイ制御講習会
日本ファジイ学会主催(1992/8/27・28)
 - ◇ "IEEE International Workshop on Robot and Human Communication"
ロボット、ヒューマン・コミュニケーション実行委員会主催(1992/9/1~3)
 - ◇セミナー [コンピュータ・ビジュアルライゼーションの新しい展開]
システム制御情報学会主催(1992/9/2・14)
 - ◇第1回 "運動と振動の制御" 国際会議 (1st MOVIC)
(社)日本機械学会主催(1992/9/4~11)
 - ◇第28回シンポジウム [地球環境を探る]
(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会主催(1992/9/8)
 - ◇セミナー [ニューラル/ファジイ/GAの新しい展開を探る]
システム制御情報学会主催<東京>(1992/9/10・11)
<大阪>(1992/10/6・7)
 - ◇ PACIFIC RIM INTERNATIONAL CONFERENCE ON ARTIFICIAL INTELLIGENCE (P R I C A I ' 9 2)
Korea Information Society, the Center for Artificial Intelligence Research 主催
(September 15-18, 1992) SEOUL, KOERA
 - ◇ I M A C S / S I C E ロボティクス/メカトロニクス/生産システムに関する国際シンポジウム
92神戸 (I M A C S R M 2 S ' 9 2 K O B E)
(社)計測自動制御学会(S I C E)、I M A C S 主催(1992/9/16~20)
 - ◇ The Forst Singapore International Conference on Intelligent Systems (SPICIS), 1992
Japan-Singapore AI Center(JSAIC), the Information Technology Institute(ITI), Institute
of Systems Science(ISS), GINTIC Institute of CIM 主催 (28 September ~ 1 October 1992
-4 days)
 - ◇自律分散型ロボットシステムに関する国際シンポジウム
理化学研究所主催(1992/9/21・22)
 - ◇ A V I R G サマーセミナー [五感を探る]
視聴覚情報研究会(A V I R G) 主催(1992/9/22)
 - ◇システム制御情報イーブニングスクールチュートリアル講座 [フィードバック制御]
システム制御情報学会主催(1992/9/22・28・10/1・5・9)
 - ◇関西支部シンポジウム [モーションコントロールとセンシングにおける最近の話題]
(社)計測自動制御学会関西支部主催(1992/9/24・25)
 - ◇ニューラルネットワークとAIの統合に関する講演会
(財)日本情報処理開発協会主催(1992/9/25)
 - ◇第3回インテリジェントシステム・シンポジウム
-ファジイ、AI、ニューラルネットワーク応用技術-
(社)日本機械学会主催(1993/9/28~30)
 - ◇'92年 [視覚と空間認知への総合的アプローチ] シンポジウム
(株)けいはんな主催(1992/10/1・2)
 - ◇ S I C E 基礎講習会 - 適応制御入門 -
(社)計測自動制御学会主催(1992/10/13・14)
 - ◇第8回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム
(社)計測自動制御学会主催(1992/10/21~23)
 - ◇第2回インテリジェントシステム・シンポジウム - ファジイ、AI、ニューラルネットワーク融合
化応用技術 -
(社)日本機械学会主催(1992/10/22・23)
 - ◇平成4年度第2回ORセミナー [ORとマーケティング]

- (社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会主催(1992/10/28)
- ◇第193回講習会 [実例に学ぶC I Mの高度化]
- (社) 日本機械学会関西支部主催(1992/10/28・29)
- ◇第9回色彩工学コンファレンス
- 光学四学会(応用物理学会、日本光学会、照明学会、日本色彩学会、日本写真学会) 主催(1992/10/28~30)
- ◇第35回自動制御連合講演会
- システム制御情報学会、他主催(1992/10/28~30)
- ◇国際シンポジウム「コンピュータワールド'92」
- (財) 関西情報センター主催(1992/11/4~6)
- ◇新ソフトウェア構造化モデル国際ワークショップ'92 (IMS A'92)
- (財) ソフトウェア工学研究財団/情報処理事業振興協会主催(1992/11/4~7)
- ◇次世代産業基盤技術 [新ソフトウェア構造化モデル国際シンポジウム'92]
- (財) ソフトウェア工学研究財団/情報処理事業振興協会/ (財) 日本産業技術振興協会主催(1992/11/9)
- ◇若手技術者を対象とするエキスパートシステム中心のA I入門講座<第1回>
- 東京電機大学主催(1992/11/11~12/11)
- ◇'92センシング技術応用セミナー/センサ&アクチュエータフォーラム [最先端画像計測セミナー]
- センシング技術応用研究会、次世代センサ協議会、(社) 大阪府技術協会主催(1992/11/13)
- ◇S I C Eセミナー現代制御理論(初級)
- (社) 計測自動制御学会主催(1992/11/14・25)
- ◇I M E K O T C 1 7 [第2回ロボットにおける計測と制御国際会議] (I S M C R'92)
- (社) 計測自動制御学会主催:(1992/11/16~18)
- ◇国際A Iシンポジウム92名古屋 [人工知能のニューパラダイム—メディアの中のA I—]
- 国際A Iシンポジウム92名古屋開催協議会主催(1992/11/16~19)
- ◇第1回人工物工学シンポジウム
- 文部省科学研究費新プログラム [工学を総合化する知的人工物に関する研究] /東京大学人工物工学研究センター主催(1992/11/16・27)
- ◇講習会 [快適さを実現するファジィ理論—モノづくりの心—]
- 日本ファジィ学会主催(1992/11/19)
- ◇1992年度第13回バイオメカニズム学術講演会
- バイオメカニズム学会主催(1992/11/22・23)
- ◇第7回生体・生理工学シンポジウム
- (社) 計測自動制御学会主催(1992/11/26~28)
- ◇講習会 [ビジネスにおけるファジィ戦略—評価支援に向けて—]
- 日本ファジィ学会主催(1992/11/30)
- ◇第4回バイオ素子国際シンポジウム (B M E D'92)
- 4th International Symposium on Bioelectronic and Molecular Electronic Devices
- (財) 新機能素子研究開発協会主催(1992/11/30~12/2)
- ◇次世代知的C A Iシンポジウム<I T Sにおける推論とモデル・テクノロジー>
- (社) 日本工業技術振興協会主催(1992/12/2) (社)
- ◇神経回路学会第3回全国大会
- 神経回路学会主催(1992/12/4~6)
- ◇マシンビジョン応用に関するI A P R国際ワークショップ (M V A'92)
- M V A'92実行委員会主催(1992/12/7~9)
- ◇システム制御情報オープンングスクール・チュートリアル講座 [システム・制御・情報技術者のための電子回路入門]
- システム制御情報学会主催(1992/12/8・10・15・17・22)
- ◇東京大学工学講座 [やわらかい工学]
- (財) 総合研究奨励会主催(1992/12/9)
- ◇第4回自律分散システム・シンポジウム
- (社) 計測自動制御学会主催(1993/1/13~14)
- ◇[S I C E基礎講習会—非線形制御の可能性と魅力—]
- (社) 計測自動制御学会主催(1993/1/18・19)
- ◇第42回システム制御情報講習会 [ウェーブレット/フラクタル/カオスの基礎と応用]
- システム制御情報学会主催<大阪>(1993/1/21・22)<東京>(1993/2/4・5)
- ◇[S I C Eセミナー現代制御理論(中級)]
- (社) 計測自動制御学会主催(1993/2/1・2)

- ◇第17回 [産業用ロボット・フィルムフェスティバル]
(社)日本産業用ロボット工業会主催<東京会場>(1993/2/18)<大阪会場>(1993/2/26)
- ◇講習会 [知識獲得とファジィ・ニューラルネット]
日本ファジィ学会主催(1993/3/19)

11. 会 議

◇7回通常総会

6月25日(木)に全国大会会場の学習院大学記念会館(東京・目白)で開催、出席者1,028名(うち委任状950名)、1991年度事業報告、1992年度事業計画などの議案審議、決裁、引き続き1991年度学会論文賞および1992年度全国大会(第6回)優秀論文の表彰を行った。

◇理事会

8月を除く各月に計11回開催した。

◇1992年度評議員会

定例会議を5月24日(水)に開催、当日出席45名、総会議題、学会運営について審議を行った。

◇委員会

編集、研究会運営、企画、国際、広報、財務、総務の各委員会ならびに1992年度全国大会(第6回)の大会委員会および同プログラム委員会、1993年度全国大会(第7回)開催準備のため設置された大会委員会および同プログラム委員会、ALT'92各委員会、IJCAI'97準備委員会が随時開催された。

14. 契約締結、覚書交換、認可など

◇社団法人人工知能学会・新役員登記(1992/8/27)

◇科学技術情報センターに対し、言語・音声理解と対話処理、知的教育システム両研究会資料の英文抄録利用を許諾した。(1992/9/25)

◇全国大会運営業務委託の覚書交換(1993/2/21)<(株)連企画研究事務所>

1993年度全国大会(第7回)の準備着手に際し、運営事務を(株)連企画研究事務所に委託することとし、大会事務局(東京都港区浜松町2-12-14、第2日化ビル3階)を設けた。

以 上

(社)人工知能学会1992年度決算報告書

<1992年4月1日~1993年3月31日>

貸借対照表

(1993年3月31日)

1) 資産の部

科 目	金 額
1. 流動資産	
(1) 現金預金	75,813,480
現金	(65,120)
預金	(9,748,360)
定期預金	(66,000,000)
(2) 未収金	13,327,099
(3) 担保金	1,057,000
(4) 貸出金	2,000,000
流動資産計	[92,197,579]
2. 固定資産	
(1) 入居保証金	4,344,000
(2) 電話架設料	220,584
その他の固定資産計	[4,564,584]
資 産 合 計	96,762,163

2) 負債の部

科 目	金 額
1. 流動負債	
(1) 前納金	20,387,500
(2) 未払い金	10,598,735
流動負債計	[30,986,235]
2. 固定負債	
(1) 国際会議積立金	17,000,000
(2) ALT積立金	1,248,000
(3) JKA W積立金	722,000
(4) 退職金引当金	1,648,787
(3) 会費未納分除却引当金	857,000
(4) 事務所整備積立金	1,700,000
固定負債計	[23,175,787]
負 債 合 計	54,162,022

3) 正味財産の部

科 目	金 額
1. 基本財産	
(1) 基本財産	35,000,000
基本財産計	[35,000,000]
2. 剰余金	
(1) 次期繰越収支差額	7,600,141
剰余金計	[7,600,141]
正 味 財 産 合 計	42,600,141
負債および正味財産合計	96,762,163

財産目録

(1993年3月31日)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 流動資産	
(1) 現金預金 75,813,480	
イ) 現金	
現金手持ち有り高	65,120
ロ) 普通預金	
第一勧業銀行北沢支店 (代表幹事口座)	322,474
第一勧業銀行飯田橋支店 (会長口座)	6,266,011
郵便貯金 (会長口座)	397,331
三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	98,615
第一勧業銀行北沢支店 (事務局長口座)	83,059
第一勧業銀行飯田橋支店 (事務局長口座)	4,030
第一勧業銀行飯田橋支店 (事務局長口座/新)	46,941
第一勧業銀行飯田橋支店 (A L T積立金)	1,013,653
第一勧業銀行飯田橋支店 (A L T 91)	223,078
ハ) 振替貯金	
東京振替貯金局	1,293,168
ニ) 定期預金	
第一勧業銀行飯田橋支店	35,000,000
三菱銀行神楽坂支店	14,000,000
三菱銀行神楽坂支店	15,000,000
定額郵便貯金	2,000,000
(2) 未収金 13,327,099	
イ) 会 費	8,553,921
ロ) 会誌別刷り	1,944,321
ハ) 会誌印税	195,720
ニ) 会誌広告料	265,670
ホ) 研究会登録料	1,033,172
ヘ) 研究会別刷り料	83,000
ト) セミナー参加料	199,600
リ) PRICAI 剰余金	300,000
ヌ) ハトブック予約料	121,500
ル) 名簿頒布料	76,500
ロ) IJCAI' 97 諸経費	118,850
リ) 社会・労働保険料	16,045
カ) 郵送料他立替金	179,200
コ) その他諸費用未収分	239,600
(3) 担保金	
イ) 郵便物受取人払い担保金	1,057,000
(4) 貸出金	
イ) 全国大会運営費	2,000,000
2. 固定資産	
(1) 入居保証金	4,344,000
(2) 電話架設料	220,584
資 産 合 計	96,762,163

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 流動負債	
(1) 前納金	
イ) 91年度会費	18,848,000
ロ) 研究会登録料	1,539,500
(2) 未払金	
イ) 会誌発行費	10,153,612
ロ) 会誌別刷り印刷費	274,624
ハ) 会費自動引落とし手数料	144,972
ニ) 記念シンポジウム会場費	25,527
2. 固定負債	
イ) 国際会議積立金	17,000,000
ロ) A L T積立金	1,248,000
ハ) J K A W積立金	722,000
ニ) 退職金引当金	1,648,787
ホ) 会費未納分除却引当金	857,000
ヘ) 事務所整備積立金	1,700,000
負 債 合 計	54,162,022
正 味 財 産	42,600,141

[1] 収支計算の部

(自1992年4月1日～至1993年3月31日)

1) 収入の部

科 目	予 算 額	実 算 額	差 引 額
基本財産運用	2,030,000	2,035,561	5,561
入会金収入	760,000	645,000	▲115,000
正会員入会金	720,000	518,000	▲202,000
学生会員入会金	40,000	127,000	87,000
会費収入	57,944,000	54,454,000	▲3,490,000
正会員会費	31,200,000	31,176,000	▲124,000
学生会員会費	1,484,000	1,548,000	64,000
賛助会員会費	24,320,000	20,720,000	▲3,600,000
特殊購読会員会費	940,000	1,010,000	70,000
事業収入	35,729,000	44,994,462	9,265,462
会誌別刷料	9,249,000	9,974,000	725,000
会誌印税	1,170,000	1,174,320	4,320
全国大会参加費 他	13,000,000	12,563,408	▲436,592
セミナー参加費	4,155,000	3,145,000	▲1,010,000
記念シンポジウム参加費	0	3,018,000	3,018,000
会誌など頒布代	920,000	754,300	▲165,700
研究会登録料、他	5,345,000	5,516,000	171,000
国内ワークショップ ALT' 92	1,740,000	2,557,068	817,068
国際ワークショップ JKAW 92	0	5,365,077	5,365,077
第10回設計シンポジウム	0	540,000	540,000
その他	150,000	387,289	237,289
雑収入	6,470,000	3,591,776	▲2,878,224
会誌広告料	4,410,000	2,236,125	▲2,173,875
郵送料 他	60,000	70,000	10,000
受取利息	2,000,000	1,285,651	▲714,349
積立金取崩し収入	0	3,099,000	3,099,000
会費未納分除却引当金	0	3,099,000	3,099,000
当期収入合計	102,933,000	108,819,799	5,886,799
前期繰越収支差額	9,749,522	9,749,522	0
収入合計	112,682,522	118,569,321	5,886,799

2) 支出の部

科 目	予 算 額	実 算 額	差 引 額
事業費	65,944,000	70,603,186	4,659,186
会誌発行費	35,832,000	36,963,378	1,131,378
会誌別刷印刷費	2,460,000	2,555,625	95,625
会誌執筆謝礼	528,000	555,968	27,968
会誌発行諸経費	1,400,000	1,368,870	▲31,130
全国大会開催費	12,500,000	12,643,343	143,343
セミナー開催費	3,560,000	2,229,582	▲1,330,418
記念シンポジウム開催費	0	223,937	223,937
ニューズレター発行費	810,000	743,390	▲66,610
研究会、他開催費	5,919,000	5,651,919	▲267,081
国内ワークショップ ALT' 92	1,740,000	2,153,725	413,725
国際ワークショップ JKAW' 92	0	4,281,245	4,281,245
第10回設計シンポジウム	0	539,710	539,710
広報活動費	460,000	90,755	▲369,245
表彰費	130,000	32,012	▲97,988
会議費	605,000	569,727	▲35,273
管理費	36,636,000	31,276,994	▲5,359,006
家賃	3,716,000	3,715,250	▲750
共益費	482,000	482,040	▲40
光熱費	330,000	314,430	▲15,570
リース料 他	1,100,000	1,256,008	156,008
機械修理費	40,000	22,660	▲17,340
什器備品費	100,000	47,750	▲52,250
会議費	1,100,000	785,798	▲314,202
旅費交通費	300,000	222,370	▲77,630
通信費	3,400,000	3,508,786	108,786
印刷費	1,500,000	1,293,221	▲206,779
消耗品費	1,800,000	2,080,219	280,219
倉庫管理費	450,000	467,350	17,350
給料手当等	18,983,000	14,086,026	▲4,896,974
臨時雇用費	800,000	1,056,050	256,050
支払い手数料	50,000	69,048	19,048
雑費	120,000	214,911	94,911
資料購入費	145,000	1,430	▲143,570
研修費	30,000	0	▲30,000
諸会費	85,000	87,500	2,500
OA強化費	200,000	15,450	▲184,550
会費自動引落手数料	0	144,972	144,972
保険料	5,000	3,800	▲1,200
福利厚生費	1,900,000	1,401,925	▲498,075
積立金繰入れ支出	3,500,000	5,990,000	2,490,000
国際会議積立金	1,500,000	1,500,000	0
事務所整備積立金	200,000	200,000	0
退職金引当金	300,000	300,000	0
会費未納除却分引当金	1,500,000	3,000,000	1,500,000
ALT' 92積立金	0	268,000	268,000
JKAW' 92積立金	0	722,000	722,000
予備費	400,000	0	▲400,000
引当金取崩し支出	0	3,099,000	3,099,000
会費未納分除却損	0	3,099,000	3,099,000
当期支出合計	106,480,000	110,969,180	4,489,180
次期繰越収支差額	6,202,522	7,600,141	1,397,619
支 出 合 計	112,682,522	118,569,321	5,886,799

注：当期収支差額は▲2,149,381円である。

[2] 正味財産増減計算の部

(自1992年4月1日～至1993年3月31日)

1) 増加の部

科 目	実 算 額
当期収支差額	0
当期増減差額	0
増加額合計	0

2) 減少の部

科 目	実 算 額
当期収支差額	2,149,381
当期増減差額	0
減少額合計	2,149,381

3) 合計の部

科 目	実 算 額
当期正味財産増加額	▲2,149,381
前期繰越正味財産額	44,749,522
期末正味財産合計額	42,600,141

1993年度事業計画

1. 運営・活動方針

定款の目的に沿って、会誌の隔月発行、全国大会（第7回）、国際会議、研究会、セミナー、講演会の開催、ワークショップなど研究活動の推進、学会論文賞、研究奨励賞および全国大会優秀論文の表彰、ならびに他学協会および海外関連団体との協調により学会活動の活性化、多様化を推進するとともに、引続き組織・基盤の強化に努めて会員サービスの充実をはかる。

なお、とくに研究活動の充実をはかるため、本年度から自主・独立の研究活動を主体とする第2種研究会制度を設け、[並列人工知能]をテーマとする研究会を発足させる。

また、国際活動の一貫として、会誌掲載論文の海外版としてエルゼビア社刊JAI (Journal of Artificial Intelligence) 誌特集号の発行準備を進めるとともに、IJCAI'97開催に向けて本委員会発足による具体的準備作業、さらにはAAA Iとの協調活動を推進する。

2. 会誌の発行

◇第8巻第3号（通巻39号）1993年5月1日発行

小特集「数理計画法と人工知能技術の融合」、同「大規模知識ベース」、解説「素性構造-2-」、連載「計画問題とAI」、論文6編、他

◇第8巻第4号（通巻40号）1993年7月1日発行

論文特集「ALT'92」、解説「音楽とAI」、連載「計画問題とAI-4-」、AIマップ、論文7編、他

◇第8巻第5号（通巻41号）1993年9月1日発行

特集「発想支援システム」、解説「人工現実感におけるAI技術」、AIマップ、論文5編、他

◇第8巻第6号（通巻42号）1993年11月1日発行

特集「コミュニケーションとAI」、解説「リアクティブ・プランニング」、「電力とAI」、AIマップ、論文、他

◇第9巻第1号（通巻43号）1994年1月1日発行

特集「知識の共有・再利用」、解説「ネットワーク用エキスパートシステム」、「音声対話処理」、計算幾何学の動向」、AIマップ、論文、他

◇第9巻第2号（通巻44号）1994年3月1日発行

特集「Diagrammatic Reasoning」、解説「通信とAI」、「鉄鋼におけるAI」、論文、他

3. 全国大会（第7回）の開催

期 日 1993年7月26日（月）～29日（木）

場 所 中央大学後楽園キャンパス・理工学部校舎5号館（東京・後楽園）

構 成 ・特別講演 [第5世代プロジェクトは何故成功したか]

淵 一博氏（東京大学）

・招待講演 [Why we need a large common-sense knowledge base]

Marvin Minsky 氏（The Media Lab., MIT）

・パネルディスカッション [スケジューリング技術：ORが有効か？ AIが有効か？]

・研究会企画特別セッション

[音声対話処理技術の最近の研究動向]

(言語・音声理解と対話処理研究会)

[実マシン上での並列人工知能]

(並列人工知能研究会)

[知的教育システムのあり方と将来展望]

(知的教育システム研究会)

・一般講演(189件)

・チュートリアル講演(3トラック9件)

Track A - AI技術の産業応用-

Track B - AIの新潮流-

Track C - AIのさまざまな話題から-

4. シンポジウム/ワークショップの開催

◇第11回設計シンポジウム

期 日 1993年6月14日(月)・15日(火)

場 所 電気通信大学第一会議室(東京・調布)

共 催 (社)精密工学会、(社)日本機械学会、日本設計工学会

構 成 特別講演、論文発表

◇計算論的学習理論ワークショップAL'T'93

期 日 1993年11月8日(月)~10日(水)

場 所 電気通信大学9号館AVホール(東京・調布)

協 賛 (社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、
日本認知科学会、(社)計測自動制御学会、日本神経回路学会

構 成 招待講演/論文発表

◇マシンインテリジェンスに関する国際ワークショップ1993

期 日 1993年11月11日(木)~13日(土)

場 所 (株)日立製作所基礎研究所

共 催 Turing Institute

後 援 Daiwa Foundation

構 成 論文発表

5. 研究会の開催

昨年度までの5研究会に加えて、新しい制度にもとづく第2種研究会として[並列人工知能]をテーマとした研究会が発足する。、それぞれ年4~5回の研究会を開催する。12月度は6研究会合同で、AIシンポジウム'93として講演、パネル討論、研究発表を行う。

◇人工知能基礎論研究会(略称:SIG-FAI)

開催予定月:6月11日(金)<群馬大学>、10月8日<東京>、12月9日(木)・10日(金)<6研究会合同/AIシンポジウム'93、東京>、2月<関西>

<内 容>:論理、推論、学習、知識の表現と獲得、並列計算モデル、知的プログラミング、自然言語理解、パターン理解などに関する人工知能としての基礎的研究

◇ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会（略称：SIG-HICG）

開催予定月：5月21日（金）＜ATR＞、10月8日（金）＜テーマ：認知モデル、IESと合同、東京＞、12月9日（木）・10日（金）（6研究会合同/AIシンポジウム'93、東京）、2月3日（木）＜テーマ：画像処理とAI、東京＞

＜内容＞：ヒューマンインタフェース設計論、対話モデル、認知モデル（知覚、記憶、思考、学習、言語）、人間と機械との協調問題解決、計算機支援による応用システム（エキスパートシステム、CAD、CAI、OAなど）のヒューマンインタフェース、ヒューマンインタフェースの評価技術、ヒューマンインタフェース向きアーキテクチャ、メタファ

◇知識ベースシステム研究会（略称：SIG-KBS）

開催予定月：4月22日（木）＜東京＞、6月9日（水）＜大阪大学＞、10月＜テーマ：機械系設計関連、4団体と共催、場所未定＞、12月9日（木）・10日（金）＜6研究会合同/AIシンポジウム'93、東京＞、1月＜場所未定＞

＜内容＞：人工知能ツール、環境（AI言語、AIツール、AIワークステーション、AI向きアーキテクチャ）、人工知能技法（知識表現、推論、知識獲得）、人工知能応用（エキスパートシステム、自然言語処理、パターン情報処理、知的CAIなど）《なお本研究会は、広い意味での知識ベースシステムの応用をテーマとする研究発表を受け付けています。エキスパートシステムに限らず、知的設計支援、ソフトウェア開発支援、知的データベース、自然言語処理応用、知的制御、生産管理への知識ベース応用、などもテーマとして取り上げていく予定です。》

◇言語・音声理解と対話処理研究会（略称：SIG-SLUD）

開催予定月：5月28日（金）＜電総研＞、9月30日（木）＜テーマ：対話処理、東京工業大学＞、12月9日（木）・10日（金）＜6研究会合同/AIシンポジウム'93、東京＞、2月＜関西＞

＜内容＞：自然言語理解、自然言語処理、音声処理、計算言語学、コミュニケーション・モデル、社会言語学、ソフトウェア・アーキテクチャなど

◇知的教育システム研究会（略称：SIG-IES）

開催予定月：4月10日（土）＜テーマ：知的教育支援、機械振興会館＞、10月8日（金）＜テーマ：認知モデル、HICGと合同、東京＞、12月9日（木）・10日（金）＜6研究会合同/AIシンポジウム'93、東京＞、2月＜関西＞
2月＜テーマ：プラント運転訓練システム、場所未定＞

＜内容＞：学習者モデル、教授と学習、教育システムの要素技術（高次推論機構、認知モデル、感性・情緒モデル、マシンラーニング、対話モデル、対話技術など）、知的教育システムの設計・実現、発見的環境の構築技術、教育とメディア技術、など。

《第2種研究会》

◇並列人工知能研究会（略称：SIG-PPAI）

開催予定月：9月1＜東京館＞、12月9日（木）・10日（金）＜6研究会合同/AIシンポジウム'93、東京＞、3月＜東京＞

＜内容＞：並列人工知能、超並列人工知能、遺伝的アルゴリズム、ニューラルネットワーク、記憶に基づく推論、並列学習、並列マサン、大規模計算

6. セミナーの開催

セミナーを年4回開催する。

7. 表彰

1993年発行の会誌掲載論文、ショートノート、技術資料を対象とした学会論文賞の表彰、1992年度開催の研究会発表を対象にした研究奨励賞の表彰、および全国大会（第7回）発表優秀論文の表彰を行う。

8. 関連学協会との共催、協賛など

昨年度に引続き、他学協会との協調により学会活動の活発化、多様化を推進する。本学会が共催／協賛／後援する、関連学協会の本年度開催の催し物は、共催1件、協賛57件（6月1日現在）である。

9. 総会・評議員会・理事会・委員会

◇総会

通常総会（第8回）を6月16日開催。

◇評議員会

定例会議を通常総会開催に合わせて6月16日に開催。

◇理事会

毎月1回開催。（8月は休会）

◇委員会その他

会誌編集、研究会運営、企画、全国大会・同プログラム委員会、国際、出版、広報、財務、総務、ALT'93、IJCAI'97の各委員会は随時開催。

11. 1993年度役員構成（案）

別紙参照

12. 1993年度評議員構成（案）

別紙参照

以上

1993年度予算書

(自1993年4月1日～至1994年3月31日)

1) 収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
基本財産運用	1,347,000	2,030,000	▲683,000
入会金収入	550,000	760,000	▲210,000
正会員入会金	440,000	720,000	▲280,000
学生会員入会金	110,000	40,000	70,000
会費収入	58,553,000	57,944,000	609,000
正会員会費	36,560,000	31,200,000	5,360,000
学生会員会費	1,688,000	1,484,000	204,000
賛助会員会費	18,880,000	24,320,000	▲5,440,000
特殊購読会員会費	1,425,000	940,000	485,000
事業収入	33,237,000	35,729,000	▲2,492,000
会誌別刷料	9,180,000	9,249,000	▲69,000
会誌印税	1,089,000	1,170,000	▲81,000
全国大会参加費 他	9,620,000	13,000,000	▲3,380,000
セミナー参加費	3,600,000	4,155,000	▲555,000
会誌など頒布代	610,000	920,000	▲310,000
研究会登録料、他	6,038,000	5,345,000	693,000
国内ワークショップ ALT' 93	2,850,000	1,740,000	1,110,000
その他	250,000	150,000	100,000
雑収入	3,215,000	6,470,000	▲3,255,000
会誌広告料	2,205,000	4,410,000	▲2,205,000
郵送料 他	60,000	60,000	0
受取利息	950,000	2,000,000	▲1,050,000
当期収入合計	96,902,000	102,933,000	▲6,031,000
前期繰越収支差額	7,600,141	9,749,522	▲2,149,381
収入合計	104,502,141	112,682,522	▲8,180,381

2) 支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
事業費	56,145,000	65,944,000	▲9,799,000
会誌発行費	31,539,000	35,832,000	▲4,293,000
会誌別刷印刷費	2,592,000	2,460,000	132,000
会誌執筆謝礼	512,000	528,000	▲16,000
会誌発行諸経費	1,400,000	1,400,000	0
全国大会開催費	8,620,000	12,500,000	▲3,880,000
セミナー開催費	2,368,000	3,560,000	▲1,192,000
ニューズレター発行費	-	810,000	▲810,000
研究会、他開催費	5,314,000	5,919,000	▲605,000
国内ワークショップ ALT 93	2,850,000	1,740,000	1,110,000
広報活動費	300,000	460,000	▲160,000
表彰費	50,000	130,000	▲80,000
会議費	600,000	605,000	▲5,000
管理費	32,585,000	36,636,000	▲4,051,000
家賃	3,408,000	3,716,000	▲308,000
共益費	482,000	482,000	0
光熱費	330,000	330,000	0
リース料 他	1,260,000	1,100,000	160,000
機械修理費	40,000	40,000	0
什器備品費	100,000	100,000	0
会議費	800,000	1,100,000	▲300,000
旅費交通費	300,000	300,000	0
通信費	3,400,000	3,400,000	0
印刷費	1,400,000	1,500,000	▲100,000
消耗品費	1,800,000	1,800,000	0
倉庫管理費	450,000	450,000	0
給料手当等	14,800,000	18,983,000	▲4,183,000
臨時雇用費	1,850,000	800,000	1,050,000
支払い手数料	50,000	50,000	0
雑費	200,000	120,000	80,000
資料購入費	45,000	145,000	▲100,000
研修費	30,000	30,000	0
諸会費	85,000	85,000	0
OA強化費	100,000	200,000	▲100,000
会費引落手数料	150,000	0	150,000
保険料	5,000	5,000	0
福利厚生費	1,500,000	1,900,000	▲400,000
積立金繰入れ支出	3,500,000	3,500,000	0
国際会議積立金	1,500,000	1,500,000	0
事務所整備積立金	200,000	200,000	0
退職金引当金	300,000	300,000	0
会費未納除却分引当金	1,500,000	1,500,000	0
予備費	400,000	400,000	0
当期支出合計	92,630,000	106,480,000	▲13,850,000
次期繰越収支差額	11,872,141	6,202,522	5,669,619
支出合計	104,502,141	112,682,522	▲8,180,381

注：当期収支差額は4,272,000円である。

法人 人工知能学会 1993年度役員構成

会 長	志村 正道	東京工業大学工学部情報工学科／教授	(留任)
副会長	堂下 修司	京都大学工学部情報工学教室／教授	(留任)
副会長	佐藤 繁	(株)富士通研究所／常務取締役	(新任)
理 事	飯沼 一元	日本電気(株)／C & C 情報研究所長	(新任)
理 事	稲垣 康善	名古屋大学工学部情報工学科／教授	(留任)
理 事	北橋 忠宏	大阪大学産業科学研究所／教授	(留任)
理 事	小林 重信	東京工業大学総合理工学研究科／教授	(新任)
理 事	白井 良明	大阪大学工学部電子制御機械工学科／教授	(新任)
理 事	庄子 幹雄	鹿島建設(株)／情報システム部長	(新任)
理 事	高橋 栄	(株)日立製作所／中央研究所副所長	(新任)
理 事	棚橋 純一	(株)富士通研究所／取締役・基盤システム研究部門長	(留任)
理 事	田村浩一郎	電子技術総合研究所／次長	(留任)
理 事	遠山 一郎	新日本製鐵(株)エレクトロニクス研究所／副所長	(留任)
理 事	廣田 幸嗣	日産自動車(株)／総合研究所電子研究所長	(新任)
理 事	房岡 璋	三菱電機(株)中央研究所システム基盤研究部／次長	(留任)
理 事	溝口 文雄	東京理科大学理工学部経営工学科／教授	(留任)
理 事	南 正名	(株)東芝／情報・通信システム研究所長	(留任)
理 事	村岡 洋一	早稲田大学理工学部情報学科／教授	(新任)
理 事	山崎 正人	松下電器産業(株)東京情報システム研究所／ 統合システム部参事	(新任)
理 事	和佐野哲男	日本電信電話(株)情報通信網研究所／ 基本アーキテクチャ研究部長	(新任)
監 事	山本 正隆	沖電気工業(株)情報通信機器事業本部／常務取締役本部長	(留任)
監 事	磯本 能彬	東京電力(株)システム研究所／AI研究室長	(新任)



顧 問	榎本 肇	芝浦工業大学工学部工業経営学科／教授	(留任)
顧 問	福村 晃夫	中京大学情報科学部情報科学科／教授・学部長	(留任)
顧 問	大須賀節雄	東京大学先端科学技術研究センター／教授・センター長	(留任)
顧 問	辻 三郎	大阪大学基礎工学部／教授・学部長	(新任)

(理事は五十音順)

社団法人人工知能学会1993年度評議員構成

大学関係	25名
国立・公的機関関係	6名
企業関係	37名
合計	68名

雨宮 真人	九州大学大学院総合理工学研究科	(新任)
有川 節夫	九州大学理学部基礎情報学研究施設	(留任)
飯田 仁	(株)ATR音声翻訳通信研究所言語処理研究室	(留任)
池田 克夫	京都大学工学部情報工学教室	(新任)
石井 義則	日本デジタルイクイップメント(株)研究開発センター国際システム開発部	(再任)
石塚 満	東京大学工学部電子情報工学科	(新任)
石原孝一郎	拓殖大学工学部情報工学科	(新任)
磯辺 寛	(株)日立製作所システム開発研究所第2部	(新任)
伊藤 英則	名古屋工業大学知能情報システム学科	(新任)
伊藤 公俊	東京工業大学総合理工学研究科	(留任)
岩井 正三	三菱原子力工業(株)テクノ・システム部	(新任)
上野 晴樹	東京電機大学理工学部経営工学科	(留任)
宇佐見仁英	富士通(株)システム事業推進本部計算科学研究センター第二研究部	(新任)
浦野 義頼	国際電信電話(株)研究所	(留任)
江連 久	(株)東芝重電技術研究所	(新任)
大崎 幹雄	シャープ(株)情報システム研究所	(留任)
大槻 説乎	九州工業大学情報工学部知能情報工学科	(再任)
小野 欽司	学術情報センター研究開発部	(留任)
河岡 司	日本電信電話(株)情報通信網研究所知識処理研究部	(新任)
岸 則正	日産自動車(株)総合研究所基礎研究所	(留任)
岸 義樹	茨城大学工学部情報工学科	(留任)
小泉 寿男	三菱電機(株)技術本部	(留任)
香田 正人	日本アイ・ビー・エム(株)東京基礎研究所	(留任)
河野 毅	(株)東芝研究開発センターシステム・ソフトウェア生産技術研究所	(再任)
小西 正躬	(株)神戸製鋼所電子技術研究所	(新任)
小山 照夫	学術情報センター研究開発部	(新任)
後藤 敏	日本電気(株)C&C CASE技術本部	(新任)
後藤 滋樹	日本電信電話(株)ソフトウェア研究所ソフトウェア基礎技術研究部	(新任)
坂部 俊樹	名古屋大学工学部情報工科学科	(新任)
坂間 保雄	日本電信電話(株)情報通信網研究所メッセージシステム研究部	(留任)
佐々木浩二	(株)アドイン研究所	(留任)

佐藤 泰介	電子技術総合研究所知能情報部推論研究室	(再任)
下村 尚久	(株) 東芝	(留任)
白井 克彦	早稲田大学理工学部電気工学科	(留任)
鈴木 道夫	(財) 電力中央研究所経済研究所情報システム部知識処理研究室	(留任)
諏訪 基	電子技術総合研究所情報科学部	(留任)
高木 朗	(株) C S K 技術開発本部	(再任)
田中 英彦	東京大学工学部電気工学科	(留任)
田中 穂積	東京工業大学工学部情報工学科	(留任)
田中 讓	北海道大学工学部電気工学科	(新任)
田町 常夫	福岡工業大学工学部通信工学科	(留任)
大力 修	新日本製鐵(株) エレクトロニクス研究所電子システム研究センター	(留任)
塚田 啓一	松下電器産業(株) 東京通信システム研究所	(留任)
辻 秀一	三菱電機(株) 情報電子研究所システム技術開発部	(新任)
戸田 正直	中京大学情報科学部認知科学科	(留任)
豊田 順一	大阪大学産業科学研究所	(留任)
鳥脇純一郎	名古屋大学工学部情報工学科	(留任)
中筋 俊輔	第一勧業銀行システム部	(新任)
中村孝太郎	日本たばこ産業(株) 生産技術研究センター	(新任)
西田 豊明	奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科	(留任)
羽下雄之輔	沖電気工業(株) 研究開発本部総合システム研究所	(留任)
八賀 明	(財) 鉄道総合技術研究所輸送・情報研究部	(再任)
早馬 修	(株) 野村総合研究所 I T 研究センター	(新任)
原 潔	日本ユニシス(株) 知識システム部	(留任)
淵 一博	東京大学工学部電子情報工学科	(再任)
古川 康一	慶応義塾大学環境情報学部	(新任)
増田 功	セコム(株) I S 研究所パターン情報処理研究部	(留任)
松田 元男	鹿島建設(株) 経営戦略室 R & D プロジェクト室	(新任)
三上 市蔵	関西大学工学部土木工学科	(再任)
溝口理一郎	大阪大学産業科学研究所	(再任)
美濃 順亮	(株) 花王知識・情報科学研究所	(留任)
宮原 是中	三井東圧化学(株) システム部	(新任)
元田 浩	(株) 日立製作所基礎研究所	(留任)
柳生 孝昭	日本ユニシス(株)	(新任)
山口 高平	静岡大学工学部情報知識工学科	(留任)
山崎 英蔵	(株) 三菱総合研究所	(新任)
米山 正秀	(株) リコー情報通信研究所	(新任)
渡辺 正信	日本電気(株) C & C システム研究所システム基礎研究部	(留任)

以上

個人会員の除名処分について

[会費の徴収および学会機関誌の配布に関する細則] にもとづき、89年度会費未納の下記の個人会員61名を、1992年度末をもって除名いたします。

◇内 訳

・ 86年度入会	正 会 員	21名
	学生会員	1名
	小 計	22名
・ 87年度入会	正 会 員	16名
	学生会員	3名
	小 計	19名
・ 88年度入会	正 会 員	16名
	学生会員	2名
	小 計	18名
・ 89年度入会	正 会 員	2名
	学生会員	0名
	小 計	2名
・ 合 計	正 会 員	55名
	学生会員	6名
	合 計	61名

以 上